

初の8000億円超え 過去最高

果樹・野菜はイチゴが2割増

農水省は、2025年上半期（1月～6月）の農林水産物・食品の輸出額が前年同期比15・5%増の8097億円となったことを発表した。02年の統計開始以降、上半期としては初めて8000億円を超え、最高額を更新した。主な要因として、同省では、海外での日本食レストラン増加や日本食への関心の高まり、インバウンド増加による日食の認知度向上、健康志向の高まりなどを挙げている。

内訳は、農産物が5231億円（前年同期比14・4%増）、林産物が371億円（17・7%増）、水産物が1994億円（20・1%増）。

水産物はホタテ貝（45・4%増）の伸びが顕著だった。農産物では緑茶（65・3%増）が大幅に拡大。ラテやスイーツ等に使用する抹茶を含む粉末状茶を中心に増加した。

一方、果樹・野菜等は2・0%増にとどまった。イチゴ（22・2%増）、ナガイモ（20・1%増）、サツマイモ（加工品含む、16・3%増）は増加したものの、ナシ（63・8%減）、リンゴ（27・6%減）、モモ（25・1%減）など多くの品目で減少した。

国・地域別の首位は米国で、前年同期比22・0%増の1410億円。4月にトランプ関税が発動したが、ホタテ貝、緑茶、ブリなどが大幅に増加し、輸出額全体を押し上げた。2位は香港（1068億円、3・4%増）、3位は中国（902億円、15・0%増）、4位は台湾（806億円、9・6%増）、5位は韓国（507億円、22・3%増）。米国、台湾、韓国は過去最高額を記録した。

2025年1-6月の農産物輸出国

品目	金額(百万円)	前年同期比(%)
農産物計	523,143	+14.4
畜産品	66,338	+1.9
果樹・野菜等	29,437	+2.0
果樹	リンゴ	4,740 ▲27.6
	ブドウ	532 ▲13.1
	モモ	402 ▲25.1
	カンキツ	623 ▲18.0
	カキ(加工品含む)	228 ▲18.4
	ナシ	7 ▲63.8
野菜	イチゴ	5,300 +22.2
	サツマイモ(加工品含む)	1,747 +16.3
	ナガイモ	1,897 +20.1
	メロン	542 ▲4.9
タマネギ	48 ▲16.1	
穀物等	37,349 +9.0	
その他農産物	89,996 +25.3	
緑茶	26,295 +65.3	
花き	3,937 ▲39.1	
加工食品	278,468 +8.5	
清涼飲料水	30,250 +6.2	
菓子(米菓を除く)	16,418 +12.2	
米菓(あられ・せんべい)	2,850 ▲2.3	
ソース混合調味料	34,063 +7.6	
味噌	3,581 +18.1	
醤油	6,483 +12.0	
アルコール飲料	77,665 +16.3	

※財務省「貿易統計」を基に農水省が作成した資料より抜粋